

令和6年度 阪神北地域経営プログラム (地域創生戦略アクションプラン)



阪神北県民局

令和6年3月

令和6年度の取組み方針 1

令和6年度 阪神北県民局主要事業

重点 大阪・関西万博に向けた地域の魅力発信

- I 万博と連動した地域の魅力向上 2
- II ひょうご北摂の魅力発信 3

第1 地域のにぎわいと元気づくり

－にぎわいのあるまち－

- I 美味しい「食」と多彩な「農」の創出 4
- II まちなかのにぎわい創出 6

第2 地域の魅力を活かしたまち・ひとづくり

－自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち－

- I 北摂里山の魅力向上の推進 7
- II 伝統文化と阪神間モダニズムが息づくまちづくり 10
- III 地元産業の人材確保支援 11

第3 多様性のある持続可能な地域づくり

－自分らしいスタイルが実現できるまち

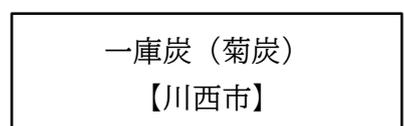
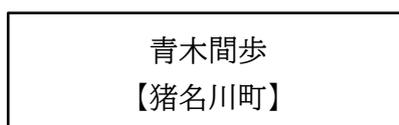
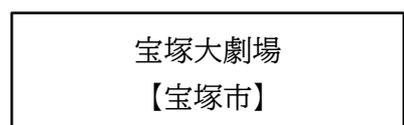
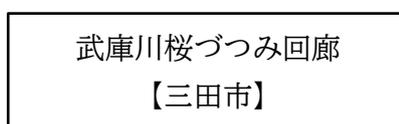
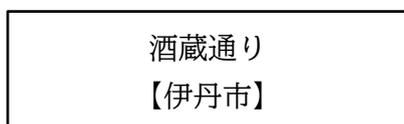
みんながつながるやさしいまち－

- I 自分らしいスタイルが実現できるまちづくり 12
- II 多様な人が住みやすいまちづくり 14
- III 持続可能な暮らしの実現 15

地域創生戦略KPI 17

令和6年度 阪神北県民局地域躍動推進費事業体系 18

〔表紙の写真〕



令和6年度の取組み方針

1 阪神北地域の特色

阪神北地域は、かつての首都圏「畿内」西端の「摂津国」に属し、歴史の表舞台に数多く登場してきた。明治時代の鉄道網の開発とともに、快適な住環境を備えた郊外住宅地として発展し、近代的な芸術文化や生活様式を柔軟に取り入れた独特のライフスタイル「阪神間モダニズム」を築き、特色ある歴史・文化を育んできた。

また、交通網が充実した多くのニュータウンが開発される一方で、森林面積が約6割を占め、その約9割が天然林であり、今なお歴史・文化や生物多様性などを保つ里山が数多く残され、今日では大都市に近接し成熟した「まち」と、北摂里山など豊かな「自然」が共存する、魅力ある地域を形成している。

2 課題

阪神北地域の人口は、昭和40年代からのニュータウン開発により急増してきたが、平成25年1月（726,392人）をピークに減少に転じ、令和6年1月の推計人口は、701,547人となっている。令和4年の1年間で、社会増減が353人減、自然増減が3,951人減となり、人口全体では4,304人の減少となっている。特に、20歳から29歳までの転出が多く、令和4年は2,511人の転出超過となっている。

また、65歳以上の高齢者人口の割合は、令和5年2月時点で、29.2%まで高まっており、急速な高齢化等が進むニュータウンでも、オールドニュータウンの課題が顕在化していく傾向にある。

このほか、地方移住への関心の高まり、キャッシュレス化やオンライン化などコロナ以降の生活環境の変化や、SDGsの達成、2025大阪・関西万博に向けた取組みなど、時代に合わせた対応が求められている。

3 取組みの基本方針

交通などの利便性が高く快適な住環境や各地域の歴史的文化財、「日本一の里山」をはじめとする豊かな自然が身近な生活、地産地消に貢献する都市・都市近郊農業など、地域の特性を活かし、生活環境の変化に適応した施策を、SDGsの視点を踏まえながら、県民や市町などと連携し展開することにより、多様な立場の人がつながり、対話しながら新しい価値を共に創る「コ・クリエーション(co-creation 共創)」を実現し、地域のさらなる活力と豊かな暮らしを育んでいく。

また、2025年に開催される大阪・関西万博に向け、機運醸成やにぎわいづくりを図り、交流人口の増加も目指していく。

【テーマ】 コ・クリエーション（共創）が育む活力あるまちづくりをめざして

【令和6年度目標】

【重点】 大阪・関西万博に向けた地域の魅力発信

【第1】 地域のにぎわいと元気づくり — にぎわいのあるまち —

【第2】 地域の魅力を活かしたまち・ひとづくり — 自然・歴史・文化が息づくまち、人を育てるまち —

【第3】 多様性のある持続可能な地域づくり — 自分らしいスタイルが実現できるまち —

— みんながつながるやさしいまち —

○SDGs達成に向けた取組み

阪神北県民局では、持続可能な開発目標（SDGs）の達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を推進していきます。



重点

大阪・関西万博に向けた地域の魅力発信

I 万博と連動した地域の魅力向上



1 フィールドパビリオンと連動した阪神北地域の魅力アップ〔新規〕【公民連携・万博枠】

阪神北管内に点在するフィールドパビリオン（以下、「FP」という）をつなぐツアー造成等で、地域の魅力を内外の人に体感してもらうことにより、万博に向けた機運醸成や賑わいづくりを図り、交流人口増加につなげる。

- (1) 阪神北地域の魅力再発見ツアーの実施
 点在するFPを巡るモデルコースを設定しツアーを実施することで、地域資源の素晴らしさを体感する機会を創出するとともに、参加者を通じてSNS等による魅力発信を促進する。



清酒発祥の地（伊丹市）



千丈寺湖（三田市）

- (2) コ・クリエーション（共創）イベントの開催

ア プロジェクトチームの設置

多様な主体によるプロジェクトチームを設置し、FPを通して地域資源の素晴らしさを体感するイベント等の企画検討を行う。

イ イベントの開催

プロジェクトチームの企画により、管内外に向けたPRイベントを開催する。

ウ プロモーションの実施

地域の魅力を内外に発信し、万博の機運醸成を図る。

2 公民連携による「阪神北SDGsプロジェクト」〔新規〕【公民連携・万博枠】

阪神北地域のテーマである「共創（コ・クリエーション）」や創造的再利用「アップサイクル」などの新しい取組みを推進するため、多様なステークホルダーとのネットワークづくりを進め、「阪神北SDGsプロジェクト」として展開し、大阪・関西万博などの機会を捉えて発信する。

- (1) SDGs Week サステナブルチャレンジ

ア 阪神地域SDGsネットワーク会議の開催

イ SDGs実践活動の実施



絵本リユースプロジェクト

- (2) 農福連携アップサイクルチャレンジ

ア アップサイクル体験イベント（プレイベント）の開催

阪神産黒大豆枝豆の規格外品を使用した加工品の試食等を通じて、アップサイクルの価値を実感してもらえらるイベントを実施する。

イ 「アップサイクル展」関連イベントの開催

県立人と自然の博物館と連携し、特別展「アップサイクル展」期間中に併せて、アップサイクルな取組みを展示するイベントを開催する。

ウ アップサイクル商品の販売促進支援

Ⅱ ひょうご北摂の観光魅力発信



1 ひょうご北摂・観光魅力発信事業☆

兵庫デスティネーションキャンペーンのアフターDCや大阪・関西万博を機会に国内外からの観光客を阪神北地域に呼び込むため、管内外や首都圏集客施設で地域の魅力ある観光資源をPRし、誘客拡大をめざす。

(1) ひょうご北摂魅力いっぱいフェアの実施

ア 大阪駅周辺イベントスペース等での開催

阪神北地域の特産品の販売のほか、観光情報の発信を行う。

○時期：令和6年10月～11月（予定） 計2日

イ 大阪国際空港（伊丹空港）「INFORMATION ひょうご・関西」での開催

地域の魅力を紹介するパンフレットの配布やポスターの掲示等により、観光情報を発信する。

○時期：令和6年12月～令和7年1月（予定） 計2日

(2) ホームページ・SNSによる多言語情報発信

HP「ぐるっとおでかけ阪神北」を活用し、阪神北管内の観光情報を多言語（日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語）で広く紹介する。また、Instagramなどを活用し、地域の魅力を発信する。

(3) ひょうご北摂☆きらっとドライブマップの作成

新名神高速道路をはじめとする利便性の高い交通網を活かし、阪神北地域を車で周遊するルートマップ（第4次改訂版）を作成する。



ひょうご北摂
魅力いっぱいフェア

ーにぎわいのあるまちー

宝塚大劇場のような観光施設や、『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」などの日本遺産、豊富な地域資源の磨き直し、おいしい地元産の食により、外国人も含む人々の交流の促進を図り、いっそうにぎわいのあるまちを目指す。

I 美味しい「食」と多彩な「農」の創出



1 阪神アグリパーク構想の推進☆〔拡充〕

阪神地域の多彩な「農」や食に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークに見立て、農業者、食関連等事業者、県民（消費者）が連携し、都市農業及び都市近郊農業の魅力アップを図る“阪神アグリパーク構想”を推進する。

(1) 「阪神アグリな100」発信プロジェクト

阪神アグリパークポータルサイトを活用した阪神地域の「農」や食に関する魅力的なスポットや農畜林産物等の情報発信を行う。

(2) 阪神産農産物パワーアッププロジェクト

ア 「阪神産」黒大豆枝豆のブランド化と需要拡大

- a 黒大豆枝豆における機械化栽培技術の普及・定着促進
- b 食育活動を通じた「阪神産」黒大豆枝豆の魅力発信と需要拡大
- c 農福連携による未利用豆の有効活用

イ 次世代の担い手育成

- a 農業系高校生等のインターンシップへの支援【本庁執行】
- b 高校生等への農業の魅力PR
- c 認定新規就農者向け農業経営レベルアップ講座の実施【本庁執行】

ウ 農産物の販売等支援

都市住民へ新鮮な農産物を提供する軒先販売活動に必要な機械・設備、防犯対策に対し支援を行う。



愛称名を入れた「早生黒大豆枝豆」の包装袋

(3) 「メイド in 阪神」発信プロジェクト

ア 「メイド in 阪神」応援店制度の普及拡大

阪神産の食材を積極的に活用している飲食店等を募集・登録しPRを実施。

イ SDGs体験型プログラム「阪神アグリパークモバイルスタンプラリー」の開催

(4) 阪神農業者×事業者マッチングプロジェクト

農業者と事業者の連携による阪神産農畜林産物の販売促進と農福連携による加工品等の開発を支援する。



規格外黒大豆枝豆を利用した「枝豆コロッケ」

2 阪神産農畜産物の維持・発展に係る取組み（植木産地の復興支援）〔新規〕

平成 24 年 7 月に発生したウメ輪紋病からの植木産地復興のため、①新たな販売形態や接木技術等を活用した新商品の開発、②緑育活動を通じた植木産地の P R 及び育成に取り組む。

3 阪神都市農業情報発信の強化

都市農業情報発信拠点「ひょうご都市農業支援センター」（平成 24 年度設置 伊丹市北本町）の情報発信機能の充実を図るとともに、都市農業の応援団である都市農業ファンクラブ会員等に対象とした取組みにより、地域住民との共生による都市農業の推進を図る。

また、新たに阪神産黒大豆枝豆の未利用豆を有効活用した商品等の試験的な販売についても各所で実施。

(1) 「ひょうご都市農業支援センター」の機能の充実

ア 企画展示及び集客イベントの実施

- a 企画展示：農福連携展、阪神地域の淡水生物展等
- b 集客イベント：福祉事務所と連携した「農福連携マルシェ」、県立丹波年輪の里と連携した「木工教室」等



企画展示「農福連携展」

イ 「都市農業ファンクラブ」の活動強化

- a 「阪神都市農業フォトコンテスト 2024」の開催
「阪神地域の農（案）」をテーマとした写真を募集し、ひょうご都市農業支援センターや Web 上での展示会を開催
- b ファンクラブ応援活動の実施
阪神産農産物（トマト、いちじく等）の座学や料理教室を開催
- c ファンクラブ会員への年間を通じたイベント情報等のメール配信



阪神都市農業フォトコンテストの開催

4 地域の宝「山田錦」の持続可能な地域づくりによる次世代への継承（SDGs 山田錦）〔新規〕

山田錦の担い手・後継者の育成・確保とブランド力の向上とシビックプライド醸成を図るため、山田錦の語り部による出前授業や生産者等への講習会への講師派遣、日本農業遺産への認定等に向けた調査・検討を実施する。

Ⅱ まちなかのにぎわい創出



1 阪神北地域の広報活動の推進〔拡充〕

2025大阪・関西万博に向け、阪神北地域の魅力やF Pの情報をタイムリーに発信し、県民に直接届き、知ってもらえる広報を行うため、SNSやイベントへのPRブース出展、地域エフエムによる放送など、多様な広報媒体等を活用した取組みを強化する。

(1) 万博を契機とする阪神北の魅力発信

ア イベント出展によるF P等のPR

- a 市民参加型野外フェスティバル
ITAMI GREENJAMを始めとするイベントでのブース出展
- b F Pアップサイクル展と連動した農福連携の取組みによる出展の実施
- c 「市町の日」への阪神北地域出展についての企画検討
- d 首都圏集客施設でのプロモーション

イ SNSの活用によるタイムリーな情報発信

ウ 市制70周年イベントと連動した広報展開

- a 市制70周年を迎える宝塚市、川西市と連携する取組みの検討を行うプロジェクトチームを運営
- b 記念イベント、関連事業での県民局による地域の魅力発信

(2) 新名神高速道路宝塚北サービスエリアを活用した広報

エリア内随一の集客数(166万人/年:令和3年度阪神北エリア2位)を誇る宝塚北サービスエリアのフリーラウンジを活用し、ドライバーや観光客へ向け、効果的にエリア内のF Pの情報や観光案内を行う。

- a ポスターやチラシによる常設配架
- b モニター設置による視覚的PR



ITAMI GREENJAM' 23
(伊丹市昆陽池公園)

－自然・歴史・文化が息づくまち、人を育てるまち－

北摂の里山や阪神間モダニズムに代表されるこの地域に息づく文化や歴史などの様々な地域資源をまもり、次世代へ継承させる取組みを進める。豊かな地域資源を地域住民自身も体感することによって、こころ豊かで、地域に愛着を持った人を育て、次世代への継承を目指す。

I 北摂里山の魅力向上の推進



1 北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）構想の推進

(1) 北摂里山魅力づくり応援事業☆

里山の保全と利活用等を促進するため、北摂里山をフィールドに活動する団体が行う里山整備活動等を支援する。

- 対象団体：阪神北地域内で活動している団体
- 助成金額：上限 20 万円



里山整備活動

(2) 里山資源を活用した環境学習・環境創生☆

大阪・関西万博に向けて、FPの理念と軌を一にする「北摂里山博物館構想」の関連事業を展開するとともに、北摂里山の里山資源を活用し、大人から子どもまでの各世代に合わせた環境学習として「里育（里山+教育）」を推進し、生物多様性の実現と地域の活性化を図る。

ア 北摂里山大学

北摂の里山地域一帯をフィールドに、実習を中心としたプログラムを通じて、里山管理、生物多様性、環境、歴史・文化などを興味深く学ぶことができる市民大学講座を開講し、北摂里山の保全や地域の活性化に取り組む人材を育成する。

イ こども北摂里山探検隊

小中学生が五感を通じて里山への理解や愛着を深めるため、北摂里山をフィールドに昆虫や植物などの観察、炭焼き・木工体験等を行う。

(3) 丸山湿原群の活用促進

北摂里山博物館の里山 34 の一つであり、県内随一の生物多様性を擁し、県市の天然記念物に指定されている丸山湿原群及び周辺の里山において、市民力を活かした保全活動を進めるとともに、エコツーリズムや環境学習の場としての活用を推進する。

(4) 北摂里山博物館運営協議会活動支援

北摂里山博物館構想の推進を図るため、県民局、市町、団体、企業、県民等が一体となって設立した北摂里山博物館運営協議会の運営を支援する。

- Webサイトの管理・運営
- 広報用資材の作成（啓発ポスター、リーフレット等の作成）
- 北摂里山サポーターズクラブの運営
- 北摂里山トレイルコース（サトトレ）の紹介
- 北摂のひととくらしをテーマとした情報発信

2 「ひょうご北摂里山サイクルツーリズム」の推進☆

ひょうご北摂地域のサイクルツーリズムを推進し、地域の活性化につなげるため、魅力ある里山や高低差のある峠道等のコースを走行する「ひょうご北摂里山ライド2024」や、グループで観光スポットや体験メニュー等を楽しみながら周遊する体験型サイクルツアーを実施する。

(1) 「ひょうご北摂里山ライド2024」の開催

ひょうご北摂の特色である「里山」等の風景を楽しみながら、平坦な田園地帯や峠道等の起伏に富んだコースを巡るサイクルイベントを開催する。

- 開催日：令和6年10月（予定）
- コース：宝塚市・川西市・三田市・猪名川町を巡る約90kmのコース
- 募集人数：100人（中・上級者向け）
- その他：ガイドライダーが5人1組を誘導するグループライド方式とし、エイドステーション（休憩所）で、特産品等のおもてなしを実施



ひょうご北摂里山ライド2023
スタート地点

(2) 体験型サイクルツアーの実施

5市町にある施設等で体験メニューを楽しみながら、ひょうご北摂地域を周遊するサイクルツアーを開催する。

- 開催回数：6回（うち1回以上は親子ペアで参加できるコース）
- 体験例：観光農園、体験型施設等
- 参加人数：15～16人程度／1回（初・中級者向け）



令和5年度体験ツアー（こけ玉作り体験）

3 ひょうご北摂スポーツサイクルの郷づくり

北摂里山地域でのスポーツサイクルの環境整備を一層推進することにより、2025年大阪・関西万博のFPの体験施設などへの来訪を促すなど、更なる交流人口の増加を図るため、コンパクトに改訂したサイクルマップを幅広く周知する。また、子どもや若年層、サイクリングを楽しむ人にも手に取りやすいQRコード付きのステッカーで、HP上のマップ掲載箇所へ誘導し、マップの閲覧や入手方法等を広報する。

4 ナラ枯れ対策の実施

北摂里山の景観維持・保全と、利用者や周辺住民の安全性を確保するため、被害木（枯損木）や今後被害を受ける可能性の高い大径木の伐倒・集積等を支援する。

- 事業主体 森林ボランティア団体、森林所有者
- 補助率 定額（森林ボランティア団体）、1/2 以内（森林所有者）
- 補助限度額 200 千円/箇所（森林ボランティア団体）、100 千円/箇所（森林所有者）

5 持続可能な北摂里山林育成〔拡充〕

日本一と称される北摂里山林の持続的な管理・循環利用を目指すため、放置による荒廃化や裸地化している里山林の健全化を図る取組みを支援する。

（1）北摂産シイタケ原木林等の更新対策事業

北摂の里山林をシイタケ原木の供給林等として利活用するため、放置され荒廃した林をコナラやクヌギなどが主林木となる里山林に導く。

また、北摂産原木シイタケの普及啓発を強化するため、イベントの開催、販促資材の作成等を支援する。

- 支援対象 更新対策：大径木の伐採、不用木の除伐、植栽、防止柵、作業道の作設等に要する経費
普及啓発：北摂産シイタケの生産・消費の拡大に資する経費
- 事業主体 更新対策：原木シイタケ生産者、木炭生産者
普及啓発：北摂原木シイタケ振興協議会
- 補助率 更新対策：1/2 以内
普及啓発：定額

（2）北摂里山林育成事業

シカ食害対策を推進するため、平成 27 年度に設置した「パッチディフェンス（小区画植生保護柵）」の効果調査（3 年に 1 回程度）を行うとともに、令和 2 年度にパッチディフェンス以外の裸地化した区域に植栽した、シカの不嗜好性樹木「ウリハダカエデ」の生育状況を調査し、結果についてとりまとめる。

6 廃棄物不適正処理対策の推進

阪神北地域は大都市の後背地にあり、廃棄物の不適正処理事案が多発していることから、地域住民、県、市町、警察等の様々な主体が連携して、監視パトロールやクリーン活動などの未然防止活動を行うとともに、監視カメラを順次導入することにより、廃棄物不適正処理に強い地域づくりを推進する。

また、不法に投棄・搬入された廃棄物や汚染土壌等による生活環境保全上の支障の有無を確認するなど、廃棄物対策の体制を整備する。

II 伝統文化と阪神間モダニズムが息づくまちづくり

1 “こころ豊かにのびよう！のぼそう！ひょうごっ子”宝塚フォーラムの開催

青少年が夢を持ち、夢に向かって努力することの大切さを家族で一緒に考えるとともに、阪神北地域が誇る舞台芸術である宝塚歌劇を家族で親しむ機会を提供する。

○開催時期：令和7年2月の日曜日

○対象：県内在住・在学の青少年（小学生以上18歳未満）とその保護者2,500人

2 県立有馬富士公園の活性化

新宮晋アートを活かした子どもの健やかな成長支援☆

県立有馬富士公園休養ゾーン「新宮晋 風のミュージアム」内で令和5年度にオープンした「サンダリーノの里」において、子ども達に芸術や表現活動の魅力伝えるPRイベントとワークショップを支援し、公園の活性化を図る。



サンダリーノ



落書きウォール

Ⅲ 地元産業の人材確保等支援



1 若者ものづくり人材確保支援事業☆

阪神南県民センターと連携し、阪神地域ものづくり企業への高校生、大学生の就職を促進するため、地元企業の魅力を紹介する機会を提供する。

(1) 産業用ロボット見学会の開催

高校生を対象にロボット作業デモンストレーションや製造現場の見学を行う「ロボット見学会」を開催する。

(2) 企業見学バスツアーの実施

阪神地域の企業への就職を希望する高校生、大学生を対象に製造現場見学ツアーを実施する。

ア 高校生を対象とした企業見学

阪神地域の企業 12 社（うち阪神北管内 4 社）

イ 大学生を対象とした企業見学

阪神地域の企業 4 社（うち阪神北管内 1 社）



企業見学バスツアー

2 阪神北創業・ベンチャー支援体制の強化〔新規〕☆

阪神北地域における創業・ベンチャー支援体制を強化するため、令和7年春に関西学院大学が三田市内に設置するインキュベーション施設との連携体制を構築する。

(1) 阪神北支援機関連携会議の開催

〔参集機関〕各市町商工担当課、商工会議所、商工会、ひょうご産業活性化センター、兵庫県信用保証協会、金融機関、管内コワーキング施設管理者、関西学院大学 等

(2) 創業・ベンチャー創出支援セミナーの開催

○テーマ：地域とインキュベーション施設との連携（仮題）

○日 時：令和6年12月（予定）

○場 所：三田市内



インキュベーション施設（建設中）

第3

多様性のある持続可能な地域づくり

－自分らしいスタイルが実現できるまち－ －みんながつながるやさしいまち－

－自分らしいスタイルが実現できるまち－

利便性と自然環境のバランスがとれた地域で、ICTやAIなどの進化する技術を活用しながら、起業やまちづくりの活動、職住近接などを通じて、わくわく感や面白いことに挑戦できる地域を目指す。

また、時間や空間にゆとりを持った多様な暮らしの実現、自分らしいスタイルを実現できるまちを目指す。

－みんながつながるやさしいまち－

都市部特有の近所付き合いの希薄化、少子高齢化が進む中、既成の概念にとらわれない新しいスタイルのコミュニティを形成しながら、自身が望むようなつながりを持てたり、世代を超えてつながることができるまちを目指す。

また、脱炭素社会に向けた取り組みや、災害時にも誰一人取り残さないまちを目指す。

I 自分らしいスタイルが実現できるまちづくり



1 「ひょうご北摂ライフ」魅力発信等による移住・定住促進☆

ひょうご北摂地域への移住・定住を推進するため、ポータルサイトやInstagramによる地域の魅力の発信や、移住促進イベントの開催等を、本庁や市町と連携のうえ実施する。

(1) 「ココシルひょうご北摂ライフ」ポータルサイトの運営

ひょうご北摂の良好な住環境、豊かな自然、生活利便性など暮らしの魅力や市町の移住支援情報等を発信する。



「ポータルサイト」



「Instagram」

(2) 「ひょうご北摂」Instagramの発信

イベント情報等、地域を訪れたくなる最新情報を毎週木曜日に発信する。

(3) 首都圏等における総合的な移住促進イベントの開催〔本庁執行〕

2 移住・定住の促進による空家対策及び住宅団地再生の推進〔新規〕

阪神北地域への移住・定住の促進により空家対策及び住宅団地再生を推進するため、各市町及び県民局が緊密に情報共有してそれぞれの取組みを推進する、「空家対策及び住宅団地再生連絡会議」を設置する。

(1) 空家対策及び住宅団地再生連絡会議の運営

【活動】

- ア 関係機関での情報の共有
- イ 関連団体との情報交換及び連携
- ウ 先進事例の調査研究
- エ 支援制度の普及啓発及び促進

〔関係機関〕

- 市 町：移住等担当部署、空家等担当部署
- 県民局：県民交流室、土木事務所

(2) 住宅団地再生の推進〔本庁執行〕

住宅団地の再生を推進するため、商業施設等の空き区画活用のための支援事業により、空き区画への新規出店や子育て施設等の設置を市町（公社）と共に支援する。



出店した店舗（例）

II 多様な人が住みやすいまちづくり



1 “きらっと☆オンリーワン” 製品の販売促進☆

管内の障害者就労施設で作られた自主生産品を販売する「“きらっと☆オンリーワン” ショップ」の開設やバザールの実施により、自主生産品の販売拡大、接客力の向上を図るとともに、県民と触れ合う機会を通じて障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げる。

(1) 「“きらっと☆オンリーワン” ショップ」の開設

- 販売場所：宝塚健康福祉事務所庁舎 1階ロビー及び3階エレベーターホール
- 販売日時：月曜～金曜（休祝日除く）11:30～13:00
- 主な販売品目：菓子、弁当、パン、野菜、花き、雑貨等

(2) 「“きらっと☆オンリーワン” バザール」の開催

- 開催時期：年4回（予定）
- 開催場所：管内大型商業施設等

(3) 管内各種イベントへの出店、コラボ企画の実施〔拡充〕

管内の各種イベントへの“きらっと☆オンリーワン”ショップ参加事業所の出店、コラボ企画の実施を展開する。

○出店イベント

5月	・こどもの日西猪名公園にみんな集まれ！イベント・“きらっと☆オンリーワン” マルシェ
10月	・西猪名公園まつり・“きらっと☆オンリーワン” マルシェ ・ひょうご都市農業支援センター農福連携展・農福連携マルシェ
12月	・「愛の鍋開き」セレモニー・“きらっと☆オンリーワン” ふれ愛バザール



商品カタログ 2023 年版



“きらっと☆オンリーワン” ショップ
(宝塚健康福祉事務所)



“きらっと☆オンリーワン” バザール宝塚
(アピアさかせがわ)

2 阪神北地域障害者就労支援事業☆

地域の障害者の自立と社会参加の促進を目指し、障害がある人の「働きたい」を幅広く支援するため、阪神北地域の障害者就労支援関係機関が一体となってシンポジウムを開催する。

- 時 期 令和7年2月(予定)
- 場 所 阪神北県民局管内

3 高度医療等連携推進事業

地域の医療資源を有効に活用するため、医療確保対策圏域会議を開催し、阪神地域の病院間の連携強化や医療確保に向けた推進方策を検討する。

- 協議事項 「h-Anshin むこねっと」2次救急システム運用状況
3次救急医療を中心とした阪神地域の救急医療の現状と課題
医療確保対策における課題と今後の推進方策
- 回数 2回
- 構成員 各市医師会、公立病院、民間病院協会、市町行政等

Ⅲ 持続可能な暮らしの実現



1 阪神北公民連携スキルアップセミナー☆

行政、地域活動団体及び学生等による公民連携を深めながら、地域課題の解決に繋がるとともに、将来を担う学生等の若年層に地域活動への参画を促すことで、管内の地域活動全体の底上げを図る。

- 内容：セミナー&意見交換会
- 対象：阪神北地域で活動する団体、地域活動に関心を持つ大学生、企業等
- 開催回数：3回程度



阪神北公民連携スキルアップセミナー

2 阪神都市圏における公共交通の利用促進☆

人口減少の加速化やコロナ禍により影響を受けた阪神間の公共交通について、県民への意識啓発を行うとともに、モビリティ・マネジメント（以下、MM）※に取り組み、多様な交通手段をかしこく利用する暮らしにつなげる。

※一人一人のモビリティ（移動）が、過度な自動車交通から公共交通・自転車等を適切に利用する方向へ自発的に変化を促すコミュニケーション施策を中心とした交通施策

（1）交通まちづくりMM

ア 「阪神都市圏公共交通利用促進会議」の開催

国内の他自治体や交通事業者によるMM事業の取組みについて学識経験者および市町・交通事業者の交通施策担当者同士による事例研究・意見交換を実施し、自治体職員の知識の向上とMM事業に活かす支援を行う。

イ MM事業補助

県民の意識向上を図るため、市町が実施するMM関連事業費の1/2を補助する。

（2）「阪神地域えきバスまっぷ。」の発行

バス利用の利便性向上を目的に、バス事業各社および市町と連携した印刷物を発行・購入する。

3 阪神北☆夢づくり応援事業

阪神北地域において、地域の歴史、文化、豊かな自然等を活かし、よりよい地域づくりを目指す取組みを支援する。

- 対象団体：阪神北地域内で活動している団体
- 対象事業：地域資源を活用し、阪神北地域の課題解決や交流促進につながる事業
- 補助金額：上限 20 万円

4 地域づくり活動表彰式事業

阪神北地域における地域づくり活動の活性化を図るため、顕著な地域活動を行っている個人・団体に対する顕彰を行う。

5 防災・減災対策など社会基盤整備事業のPR活動〔本庁執行〕

道路や河川などにおける防災・減災対策工事などの事業に興味を持ってもらい、これらの施設の重要性を伝えるため、これからの進路を選択する高校生を対象に授業や見学会を実施する。

また、令和5年度に刷新した「兵庫県CGハザードマップ」を多くの県民が目にするように、管内を走行する路線バスに車外広告を出し、避難対策に役立てる。

6 地域防災力の向上☆

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、地域防災力の強化を図ることにより、SDGsの目標11にある「災害に強いまちづくり」の実現のため、防災セミナー等を開催する。

(1) ひょうご安全の日阪神北地域のつどいの開催

地震をはじめとした災害への関心が高まる「ひょうご安全の日（1月17日）」前後に、阪神北地域の一般県民、市町職員、自主防災組織や防災士等を対象に防災に関する知識を深めるセミナーを開催する。

○時 期 令和7年1月

○場 所 宝塚市内（予定）

○対 象 一般県民、市町関係職員、自主防災組織会員、消防団員、防災士等

○内 容 防災専門家によるワークショップや講演及び防災士の取り組み発表等

(2) 市町と連携した総合防災訓練への参画

管内市町で実施される総合防災訓練に参画する。

<参考> 地域創生戦略KPI

項目	KPI	目標値 R2 実績 達成率	目標値 R3 実績 達成率	目標値 R4 実績 達成率	目標値 R5 実績 達成率	R6 目標値
自分らしいスタイルが実現できるまち	阪神北地域に住み続けたい人（住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合）※	79.2%	79.4%	79.6%	79.8%	80%以上
		81.2%	76.5%	77.8%	79.4%	
		102.5%	96.3%	97.7%	99.5%	
	転入者数（日本人住民・国外含む）	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人
		24,096人	23,624人	26,403人		
		89.2%	87.5%	97.8%		
自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち	対外的に誇れる地域資源の存在（住んでいる地域に自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合）※	58.0%	58.5%	59.0%	59.5%	60%以上
		54.6%	49.8%	43.2%	41.5%	
		94.1%	85.1%	73.2%	69.7%	
	自然環境の保護（住んでいる地域で自然環境が守られていると思う人の割合）※	58.0%	60.0%	62.0%	64.0%	65%以上
		64.6%	57.9%	59.0%	56.9%	
		111.4%	96.5%	95.2%	88.9%	
みんながつながるやさしいまち	移動の利便性が高い地域（住んでいる地域の公共交通機関は便利だと思う人の割合）※	62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70%以上
		56.7%	57.5%	56.4%	58.5%	
		91.5%	89.8%	85.5%	86.0%	
	防災意識の向上（家庭で災害に対する自主的な備えをしている人の割合）※	44.0%	45.5%	47.0%	48.5%	50%以上
		50.6%	49.3%	42.9%	36.3%	
		115.0%	108.4%	91.3%	74.8%	
にぎわいのあるまち	地域資源の価値（観光消費額（名目））	1,900億円	2,025億円	2,150億円	1,250億円	1,370億円
		789億円	1,126億円			
		41.5%	55.6%			
	農産品等生産・流通（農業産出額（推計））の向上	83.2億円	84.5億円	85.9億円	87.3億円	88.6億円
		83.4億円	81.0億円	79.5億円		
		100.2%	95.9%	92.5%		

※出展：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

〈参考〉

令和6年度 阪神北県民局 地域躍動推進費事業体系

コ・クリエイション(共創)が育む活力あるまちづくりをめざして

[単位:千円]

【重点事業】		【主要事業】	
大阪・関西万博に向けた地域の魅力発信 14,934	万博と連動した地域の魅力向上	6,300	
	(新) フィールドバビリオンと連動した阪神北地域の魅力アップ事業【公民連携・万博枠】 (新) 公民連携による「阪神北SDGsプロジェクト」【公民連携・万博枠】	4,800 1,500	
	ひょうご北摂の観光魅力発信	8,634	
	ひょうご北摂・観光魅力発信事業 阪神北地域の広報活動の推進(※再掲)	8,634 -	
地域のにぎわいと元気づくり ー にぎわいのあるまち ー 19,964	美味しい「食」と多彩な「農」の創出	9,094	
	阪神アグリパーク構想の推進 ・「阪神アグリな100」発信プロジェクト (新) 阪神産農産物パワーアッププロジェクト(農業生産施設等導入支援) ・阪神産農産物パワーアッププロジェクト(次世代の担い手育成) ・阪神産農産物パワーアッププロジェクト(阪神産黒大豆枝豆のブランド化) ・阪神農業者×事業者マッチングプロジェクト ・メード・イン・阪神発信プロジェクト (新) 阪神産農畜産物の維持・発展に係る取組(植木産地の復興支援) 阪神都市農業情報発信強化事業 (新) 地域の宝「山田錦」の持続可能な地域づくりによる次世代への継承(SDGs山田錦)	5,466 931 1,050 126 1,665 560 1,134 800 2,508 320	
	まちなかのにぎわい創出	10,870	
	阪神北地域の広報活動の推進 (新) フィールドバビリオンと連動した阪神北地域の魅力アップ事業(※再掲) ひょうご北摂・観光魅力発信事業(※再掲)	10,870 - -	
地域の魅力を活かしたまち、ひとづくり ー 自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち ー 40,683	北摂里山の魅力向上の推進	32,297	
	北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)構想の推進 ・北摂里山魅力づくり応援事業 ・里山資源を活用した環境学習・環境創生 ・丸山湿原群の活用促進 ・北摂里山博物館運営協議会活動支援事業 ひょうご北摂サイクルツーリズムの推進(県民交流室) ひょうご北摂スポーツサイクルの郷づくり(宝塚土木) ナラ枯れ対策の実施 (注) 持続可能な北摂里山林育成事業(シイタケ原木林等更新対策) 持続可能な北摂里山林育成事業(北摂里山林育成) 廃棄物不適正処理対策の推進 宝塚北部県有環境林の利活用	7,086 3,285 450 8,998 6,782 150 426 1,350 150 3,116 504	
	伝統文化と阪神間モダンズムが息づくまちづくり	6,593	
	“こころ豊かにのびよう! のぼそう! ひょうごっ子”宝塚フォーラムの開催 県立有馬富士公園の活性化 新宮晋アートを活かした子どもの健やかな成長支援	4,093 2,500	
	地元産業の人材確保等支援	1,793	
	若者ものづくり人材確保支援事業 (新) 阪神北創業・ベンチャー支援体制の強化 阪神産農産物パワーアッププロジェクト(次世代の担い手育成)(※再掲)	670 1,123 -	
多様性のある持続可能な地域づくり ー 自分らしいスタイルが実現できるまち ー ー みんながつながるやさしいまち ー 15,719	自分らしいスタイルが実現できるまちづくり	-	
	※「ひょうご北摂ライフ」魅力発信等による移住・定住促進[本庁執行] ※ 移住・定住の促進による空家対策及び住宅団地再生の推進[本庁執行]	() ()	
	多様な人が住みやすいまちづくり	3,502	
	“きらっと☆オンリーワン”製品の販売促進 阪神北地域障害者就労支援事業 高度医療等連携推進事業	507 2,695 300	
	持続可能な暮らしの実現	12,217	
	公民連携による「阪神北SDGsプロジェクト」(※再掲) 阪神北公民連携スキルアップセミナー 阪神都市圏における公共交通の利用促進 阪神北☆夢づくり応援事業 地域づくり活動表彰式事業 防災・減災対策など社会基盤整備事業のPR活動 地域防災力の向上	- 2,560 6,440 2,232 400 - 585	
通常枠	85,000		
公民連携・万博枠	6,300		
	91,300		
	(5,98,311)		